

## 第1回学校運営協議会議事録

校名	大阪府立住之江支援学校
校長名	三宅 康寛

開催日時	令和 7年 7月 8日( 火 )10:30～12:00
開催場所	大阪府立住之江支援学校 図書室
出席者(委員)	伊藤委員 馬場委員 今枝委員 芦田委員
出席者(学校)	三宅校長 岩井教頭 岡本教頭 田中事務長 島山首席 藤井首席 油田首席
傍聴者	0名
協議資料	令和7年度学校経営計画、令和6年度卒業生進路状況、令和7年度教科書採択

### 議題等(次第順)

1. 令和7年度住之江支援学校運営協議会委員紹介
2. 学校長挨拶
3. 会長挨拶
4. 令和7年度学校経営計画及び学校評価について、令和6年度卒業生進路状況について、令和7年度教科書採

### 協議内容・承認事項等(意見の概要)

#### ○令和7年度学校経営計画及び学校評価の確認(承認)

1. 確かな専門性を基盤とした教育活動の展開と地域支援の推進
  - ・アセスメント(A2等)による確かな実態把握を基に的確な個別の支援教育、個別の指導計画の作成と活用。
  - ・学習指導要領及びシラバスに則り個々の子どもの力を伸長できる授業展開。
  - ・教員全員が自身の授業についてねらいを明確にした記事を学校ブログに掲載する。
  - ・地域校園との情報共有の基盤の形成。・校内における教職員人材バンクの作成。

#### 2. 全校で取り組むキャリア教育の推進

- ・キャリア教育の観点により小中高一貫した共同学習として「すみのえフレッシュGreenDay」を実施。
- ・キャリア教育を軸とした児童生徒が主体的に取り組む学校祭の実施。

#### 3. 安全安心を保障できる体制づくり

- ・校内ケース会議を中心とした生徒支援の組織的運営。
- ・より実務的な防災教育、健康教育、情報教育、防犯研修を実践。
- ・個人情報管理の管理体制を明確化し、適正な取り扱いを行う。

#### 4. 学校組織の充実と健康的な職場環境の整備

- ・組織運営の検証を行い円滑な業務の遂行をめざす。
- ・新校務システム運用委員会を設置し運用、業務の効率化をすすめる。

伊藤委員) 次男が今年で卒業するが、今年度も先生方どうぞよろしく願います。という気持ちである。

馬場委員) 報道などでもプールや学校行事ができなくなっていると聞く。それは気候の変化だけでなくいろいろな社会の変化もあると思う。大事なことは守らないといけないが、考え方を大きく変えていかないと対応していけなくなっている。先生たちは子どもたちの成長のために注力されていると思うが、それを支えるために先生方や職員の方たちが持続可能な体制を今まで以上に考えていく必要があるのではと思う。また、地域連携、地域との関係性を構築し、地域の中で「住之江支援学校があって良かった。」と思える関係性が作れたら良いと思う。

今枝委員) 学校経営計画について: キャリア教育を中心とした学校祭ということで、行事をイベント化するのではなく、キャリア教育と教科の関係性、また教科と学校祭の関係性はどうかということ踏まえ、普段の学習の成果を発揮できる場が学校祭であるという位置づけになることを願う。進路について: 就職率が重要だが、それプラス定着率も重視されている。定着率の指標も見ていただきたいと思う。卒業して5年までの定着率を把握しているという学校もある。就職率だけでなく定着率も見ていくことで、高等部、中学部で何に取り組んでいくべきかの指標にもなっていく。教科書について: 採択後の実際の使用率がどうなっているのか、ということがよく問われる。どのように使用されているのか、採択した結果がどうだったのかまた明らかにしてほしい。

芦田委員) 企業でも学校で使われていた教材がためになる。教科書採択の結果を数値化するの難しいと思うが、どのような結果だったのかということがわかればと思う。またアンケートもたくさん取られているが、アンケートがいかに役に立ったのかということも重要。漠然とした一方的なアンケートではなく、相手にとってどうかという、もう少しだけニーズを探るといふアンケートだと指標が出やすいのではと思う。企業でも定着率が言われる。離職される場合、また休みがちになる場合など、何が足りなかったかといふマイナス面で原因を考えるが、前段階で個人的な要素になるが体調面の情報など細かく企業側がつかんでおく次のステップが提示しやすい。それを知った上で採用してくれる会社もある。企業でも「安心・安全」が最優先であり、事前にそういった情報をつかんでおくお互いに就職後役立つと思う。

島山首席) 卒業後、本校の教職員が3年間は就職先を訪問したり電話したりして、卒業後もフォローを行っている。

油田首席) 教科書は今の教育課程にマッチしたものを採択し変える場合は二重に採択にならないようにチェックを行っている。

三宅校長) 教科書は大きくとらえての採択。それ以外は副教材等でおぎない、子どもたちの興味関心を拡げていく。今日いただいたご意見から、やった後がどうなのかという振り返りの視点がまだ十分でなかったと感じた。その視点を持って今後取り組んでいきたい。

### 次回の会議日程

日時	令和7年 11月 予定
会場	図書室